

第24回 中国語スピーチコンテスト

外国語学部 中国語学科 実行委員会

ここに掲載した記事4本は、中国語学科「第24回スピーチコンテスト」(2025年1月15日)に参加した学生の原稿を、本人の許可を得て再掲したものです。

【日 時】 2025年1月15日(水)、13:30~17:00

【場 所】 みなとみらいキャンパス 米田吉盛記念ホール(1階)

【プログラム】 1. 開会のあいさつ 2. 審査員紹介 3. 審査方法説明 4. 暗唱部門 発表
5. 初習クラス スピーチ部門 発表 6. 既習クラス スピーチ部門 発表
7. 講評 8. 審査結果発表・表彰 9. 閉会のあいさつ

スピーチコンテストには、暗唱部門9名、初習クラス・スピーチ部門7名、既習クラス・スピーチ部門2名が参加しました。スピーチ部門の発表テーマは、中国および中国語圏に関連する内容であれば自由としました。

初習クラス スピーチ部門

我的中国留学发现

二年级 泽野 洋人

大家好!因为我一直想学习中国文化,所以去年的暑假我去了北京。在北京留学期间,我发现了很多中国和日本不一样的地方。那么,今天我就给大家介绍一下,我发现的中日之间的三个不同点。

首先,对于日本人来说,我发现中国菜很便宜。在我留学的大学宿舍附近的食堂里,每顿饭花费大约十到十五元。换算成日元的话大约二百到三百。中国菜不仅价格便宜,而且量很大。因此我在北京几乎每天都去外面吃饭。

其次,通过我的观察,我发现很多中国人都喜欢喝热水。比如说,在我去到一家火锅店时,那时是夏天,我觉得太热了,我问了服务员“这里有冰水吗?”服务员说:“不好意思,虽然没有冰水,但是有热水。”听到之后,我感到很惊讶。另外,在我留学的大学校园里,有几个供水点,上面写着:“小心开水”。还有,我的一个来自上海的朋友。他说:他有每天早上起床后立即喝热水的习惯。从这些,我发现了炎热的夏天,在日本不太有人特意喝热水。可是,中国人不一样。无论什么季节,他们都喜欢热水,注重健康。

最后一个是,我去中国之前,不太了解中国的app。不过,在留学期间,发现了中国的app比日本的还有更多非常好用的功能。比如说,支付宝就特别方便。支付宝不仅能用来电子支付,还能打车,还可以租自行车。中国的出租车费用比日本的便宜很多,所以我周末跟朋友们一起去观光时经常使用支付宝来打车。还有就是,在中国随处可以见到黄色或蓝色的共享单车。如果你想借一辆黄色单车,就要使用微信。如果你想借一辆蓝色单车,要使用支付宝。我从学生宿舍到附近的超市购物的时候,经常使用共享单车。如果下载了支付宝,就基本不必使用现金。所以如果你打算去中国旅行或留学,请尝试一下这个app吧。

以上就是我发现的中日之间的三个不同点。大家也有同感吗?感谢大家。谢谢。

私の中国留学での発見

みなさん、こんにちは!私は以前から中国文化に興味があったため、昨年の夏休みに北京へ行きました。北京での留学生活を通じて、中国と日本の違いをたくさん発見しました。今日は、その中でも特に印象に残った3つの違いについてお話したいと思います。

1つ目は、食文化について。

日本人の私にとって、中国料理はとても安いと感じました。私が留学していた大学の寮の近くに食堂があり、1食あたりわずか10～15元程度でした。日本円に換算すると約200～300円です。中国料理は値段が安いだけでなく、量も多いです。そのため、私は北京滞在中ほとんど毎日外食を楽しんでいました。

2つ目は、中国人が「お湯」を好むこと。

私が観察したところ、多くの中国人が熱いお湯を飲むのが好きだと気づきました。例えば、夏に火鍋のお店へ行ったときのことです。その日はとても暑かったので、私は店員さんに「冷たい水はありますか?」と聞きました。すると、「すみません、冷たい水はありませんが、熱いお湯ならあります」と言われ、とても驚きました。また、大学のキャンパス内にはいくつか給水スポットがあり、「開水注意」と書かれていました。さらに、上海出身の友人は、「毎朝起きたらまずお湯を飲む習慣がある」と話してくれました。このような経験から、日本では暑い夏にわざわざ熱いお湯を飲む人は少ないですが、中国では季節を問わずお湯を飲むことが一般的で、健康を重視しているのだと感じました。

3つ目は、中国のアプリの便利さ。

中国に行く前は、中国のアプリについてあまり詳しくありませんでした。しかし、留学中に日本のアプリよりも多機能で便利なものが多いことに気づきました。特に「アリペイ(支付宝)」が非常に便利でした。アリペイは電子決済だけでなく、タクシーの予約や自転車のレンタルなどにも使えます。中国のタクシー料金は日本よりもはるかに安いので、週末に友達と観光に出かけるときはアリペイを使ってタクシーを利用することがよくありました。また、中国では黄色や青色のシェア自転車を至る所で見かけます。黄色い自転車を借りるには「WeChat(微信)」が必要で、青い自転車を借りるにはアリペイが必要です。私は学生寮から近くのスーパーに買い物に行くとき、よくシェア自転車を利用していました。アリペイをインストールしておけば、ほとんど現金を使わずに生活できます。もし中国への旅行や留学を計画しているなら、ぜひこのアプリを試してみてください。

以上が、私が発見した中国と日本の3つの違いです。みなさんも共感できる点はありませんか?最後まで聞いてくださり、ありがとうございました!

蒲田の三大翅膀饺子店

三年級 平良 大輝

大家好！我是神奈川大学三年級学生，平良大輝。我的家乡是东京蒲田。今天我要介绍在蒲田的三大翅膀饺子店，它们叫“你好”“欢迎”“金春”。我想先说说它们的历史，然后谈谈各店的特征。

原来，这家三店的老板是兄弟姐妹。大儿子是你好，大女儿是欢迎，小儿子是金春。他们在中国大连出生长大。第二次世界大战后，他们家里人分离多年，过了很多年，有一封信寄给了大儿子。原来是他爸爸寄来的，他那时住在日本，所以大儿子45岁时去了日本，学习日语，然后进修了中国菜的专科学校。他菜做得非常好，朋友们都认可他的做菜的功夫，所以他们一起出资，创立了翅膀饺子店叫你好。他的弟弟和妹妹随后也来日本，名字就取了欢迎和金春，翅膀饺子就渐渐变成了蒲田的名物。

他们的饺子各有特点，比如你好的饺子又大又好吃。欢迎的饺子馅的热汤里含有中药成分，所以又好吃又健康。店内的墙上挂着很多有名的人来时的纪念片。金春的饺子非常大，所以我们吃的时候都不用配米饭了。我特别喜欢的还有金春独特的酱料。

我查这些饺子店的历史以前，饺子也是好吃的，但明白了他们的历史和付出的努力后，当我再吃这种饺子时，我感觉越来越好吃了。如果大家想吃地道饺子的时候，请来蒲田尝一下吧。谢谢。

蒲田の三大羽根つき餃子店

みなさんこんにちは。私は神奈川大学3年の平良大輝です。私の故郷は東京の蒲田です。今日は蒲田にある3大羽根つき餃子店を紹介します。これらのお店は你好、欢迎、金春と言います。私は先にこれらのお店の歴史を話し、その後各店舗の特徴について話します。

元々、このお店のオーナーは兄弟姉妹で、長男は你好、長女は欢迎、次男は金春のオーナーです。彼らは中国の大連で生まれ育ちました。第二次世界大戦後、彼らの家族は長い間バラバラになり、長い年月が過ぎた後、一通の手紙が長男に届きました。それはなんと彼の父から贈られたもので、父は日本に住んでいたのです。そのため長男は45歳の時に日本へ渡り、日本語を勉強、その後中国料理の専門学校で学びました。彼は料理を作るのが上手で、彼の友達もその腕前を認めており、そのため彼らは一緒に出資して你好という羽付餃子のお店を設立しました。彼の弟と妹もその後日本へ来て、それぞれ欢迎と金春という名前をつけ、羽根つき餃子は段々と蒲田の名物となりました。

彼らの餃子のそれぞれの特徴としては、例えば你好の餃子は大きくて美味しいです。欢迎の餃子餡のスープには漢方成分が含まれているので美味しく健康的です。店内の壁には有名人が来た時の記念写真がたくさん掛かっています。金春の餃子はとても大きいため食べる時、白米は必要ないです。私は特に金春の独自のソースが好きです。

私はこれらのお店の歴史を調べる以前、餃子は美味しい事には美味しかったです、しかし彼らの歴史と努力を知る後、私がこれらの餃子を食べる時、ますます美味しく感じます。もし皆さんが本場の餃子を食べたくなった時は、蒲田にいらして味見してみてください。ありがとうございます。

关于饕餮的魅力

四年级 菊池 優太

大家知道饕餮这个妖怪吗？饕餮是中国古代神话中出现的妖怪，具有身体是牛或羊，有弯角，虎牙，人爪，人脸等特征。

饕餮的“饕”是贪财，“餮”是贪食的意思。在《春秋左传》这本书中被认为是与浑敦、穷奇、檮杌一起的“四个妖魔”之一。

在中国古代给人的印象是什么都吃的猛兽，随着时代的发展，甚至产生了连魔鬼都吃的想法，有了除邪驱魔的意思。

从作为妖怪被害怕的东西变成了，作为吉祥物被人们所喜爱。在日本的饕餮，同人游戏東方 Project 中登场的饕餮尤魔非常有名。她的形象一边保留着饕餮的特征，一边作为萌系的女孩子描绘得非常可爱。

所以即使不知道饕餮也能在東方 Project 这个游戏中知道她。在我看来，饕餮的魅力，就是能吃下任何东西。我想成为像饕餮一样的人，不仅仅能吃东西，还能大量吸收知识、信息等所有东西，成为一名成熟杰出的大人。

とうてつ 饕餮の魅力について

皆さんは、饕餮と言う妖怪を知っていますか？饕餮は古代神話に登場する妖怪で体は牛か羊で、曲がった角、虎の牙、人の爪、人の顔などを持ちます。饕餮の「饕」は財産を貪る、「餮」は食物を貪るという意味であります。「春秋左氏伝」には渾敦、窮奇、檮杌とともに「四凶」の一つとされています。古代では何でも食べる猛獣という印象でしたが、時代が進むにつれて魔すらも食べるという考えが生まれ、魔除けの意味を持つようになりました。妖怪として恐れられていたものから逆転の発想で縁起物として親しまれるようになりました。日本における饕餮というのは、同人ゲーム東方Project に登場する饕餮尤魔が有名です。彼女は饕餮の特徴を残しつつ萌え系の女の子として可愛く描いているため、饕餮を知らなくても東方Projectで知ることが出来ます。私から見た饕餮の魅力と言うのは、文字通り何でも食らうことです。私は、饕餮のように食だけではなく知識や見聞などといったありとあらゆるものを吸収して成熟した立派な大人になりたいと思っております。

既習クラス スピーチ部門

中国東北の一天

一年級 綾部 利佳

大家好，我是一年级的綾部利佳。今天，我想和大家分享我在中国东北的体验。我妈妈1976年出生在黑龙江省哈尔滨。不到20岁就来日本打工，养我到现在。所以到了暑假，她会经常带我到中国探亲，体验当地的文化。

我5岁的时候第一次去中国。印象里，在东北农村，大家早上都起很早。我每天都被公鸡叫醒。起床后，从大缸舀一盆凉水，刷牙洗脸。这工夫早餐就准备好了。早餐很朴实，就着咸菜，喝粥啃苞米。等吃饱喝足了，就开玩儿。农村里有各种各样的娱乐活动。看电视也好，去小卖店买小吃也好，所有的事对孩子来说都是乐趣。我玩累了就去后园揪黄瓜，蘸着大酱开啃。没事做了，就让我姨夫用挂绳和木板制作秋千，我天天玩儿到太阳落山，这是我最喜的事。到了晚饭时间，大家围着饭桌一起吃饺子和炖排骨。晚上睡觉时，我们不是睡在床上，而是睡在炕上。这就是东北农村的一天。

我不常常生活在中国，所以这些对我来说是很新鲜的体验。中国和日本的文化是完全不一样的。日本比较有名的早餐是米饭和烤鱼配味噌汤。而在中国早上一般是不吃干饭的。说到孩子们的娱乐活动，在日本主要是游戏机。而这种利用自然的玩法或许只有在中国东北才能体验到。生活在东北的另一个好处是可以自己包水饺，能吃到各种馅料的的味道。日本受到太多美国等外来文化的冲击，其自身的文化正在逐渐消失。所以我喜欢中国人的想法，重视自己的文化和生活方式。

这些经验给我很大的影响。在中国的经验也促使我选择就读现在的专业。我认为体验当地文化对于学中文的人来说将是很重要的。因为一般来说，对于我们自己没看到，没亲身体验过的事情都不感兴趣。我希望大家用自己眼睛看看风景，体验当地的文化，加深对中国了解。如果有机会去中国旅游的话，欢迎大家来到我们东北。

感谢您的聆听。

中国東北の一日

皆さん、こんにちは。1年生の綾部利佳です。今日は中国、東北地方の一日についてお話ししたいと思います。私の母は1976年に黒竜江省のハルビンに生まれました。20歳に満たないうちに日本へやってきて仕事をし、私をここまで育ててくれました。そのため、夏休みにはいつも私を中国へ連れて、親戚訪問や現地の文化を体験させてくれました。

私をはじめて中国を訪れたのは5歳の時です。私の印象の中では、東北の田舎の朝はとても早いです。毎朝、にわりの鳴き声で起こされます。起床後は、大きな壺から水をすくい、顔を洗ったり歯を磨いたりします。そうこうしているうちに朝ごはんの準備が終わります。朝ごはんはとても素朴で、漬物をおかずにお粥や蒸しトウモロコシを食べます。そして、おなかがいっぱいになったら、遊び始めます。田舎にはいろいろな娯楽があります。テレビを見てもよし、売店へ行ってお菓子を買うもよし、全てが子供にとっては楽しいことの一つです。遊び疲れたら裏の畑へ行ってきゅうりをもぎ取り、味噌につけてひと齧りします。やる事がなくなったら、おじさんに頼んでブランコを作ってもらいます。ブランコ遊びは私の一番のお気に入り、毎日、日が暮れるまで遊びました。夕食の時間になったら、みんなで食卓を囲み水餃子やパイコーなどを食べます。寝るときは、ベッドではなくオンドルの上で眠ります。これが中国東北地方の田舎での1日です。

私はいつも中国で生活しているわけではないのでこれらの経験は私にとってはとても新鮮でした。中国と日本の文化は完全に異なっています。日本の朝食といえば白米と焼き魚、味噌汁です。中国では朝ごはんに米を食べることはありません。子供たちの遊びはゲーム機がメインです。この様な自然を利用した遊び方は中国でしか体験できません。また、東北地方の生活でユニークな点は水餃子を手作りし、様々な味付けを楽しめることです。日本はあまりにもアメリカなどの海外文化の影響を受けすぎて、独自の文化が徐々に失われつつあります。だからこそ中国人の自分たちの文化を大切にする考え方が私は好きです。

これらの経験は私に大きな影響を与えました。中国での経験は私がこの学科を選ぶ事を後押ししてくれました。私は、中国語を学ぶ人にとって現地の文化を体験することはとても大切だと思います。なぜなら、見たことも無い、体験したことも無いことには多くの人は興味を持たないからです。私は皆さんの目で風景を見て、現地の文化を体験し、中国への理解を深めて欲しいと思っています。もし、中国に旅行へ行く機会があったら是非一度東北地方を訪れてみてください。

ご清聴ありがとうございました。